

第66回 中日詩祭

ふたつのリアリズムは、今

〈開会 13:00 受付 12:30〉

◇中日詩人会会長 挨拶 中原 秀雪
◇中日新聞編集局文化芸能部部长 挨拶 宮川 まどか 氏

第1部 13:00 開会

第66回 中日詩賞・奨励賞の贈呈

- * 詩賞選考経過報告 伊藤 芳博 選考委員長
- * 授賞式
- * 受賞者の紹介 草野 信子氏 椎野 満代氏
- * 受賞者の挨拶と朗読
大石ともみ氏 山田 信子氏

第2部 14:00 講演

- * 講師 ほそみ かずゆき 細見 和之氏
- * 演題 「詩人・茨木のり子の魅力」
——生誕100年、没後20年を迎えて

〈休憩 15:20～15:30〉

第3部 15:30～16:30

- * 胡弓演奏 いしだ おひと 石田 音人氏
他、津軽三味線演奏

「胡弓の音色はいのちの風となり」

〈閉会 16:30〉

- * 副会長挨拶 古賀大助
- * 事務局お知らせ かわいふくみ
- 【懇親会 17:15】
- * 場所 「楽蔵」(詩祭会場近く)
- * 会費 5,000円

とき 2026年7月5日(日) 13:00～16:30

ところ 名古屋電気文化会館

5階 イベントホール 名古屋市中区栄2-2-5

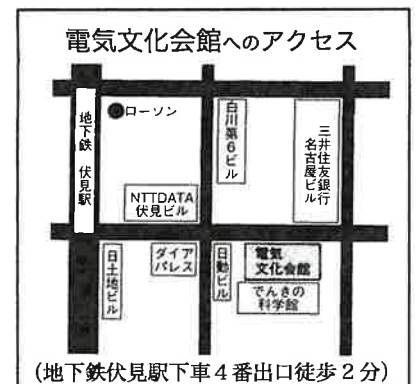
☎ (052) 204-1133

入場料 中日詩人会会員 1,000円 一般 1,500円

お問い合わせ

中日詩人会事務局

〒484-0077 犬山市上野字大野224-9 かわいふくみ方 ☎携帯 080-1550-7858



中日詩人会・中日新聞社 共催

第66回 中日詩祭

第2部 講演 詩人 細見 和之 氏

「詩人・茨木のり子の魅力 —— 生誕100年、没後20年を迎えて」



細見和之 (ほそみ・かずゆき) プロフィール

1962年兵庫県丹波篠山市生まれ。日本現代詩人会、日本詩人クラブ所属。京都大学教授（ドイツ思想専攻）、大阪文学学校校長。

主な受賞歴に、神戸ナビール文学賞、三好達治賞、日本詩人クラブ詩界賞、藤村記念歷程賞、レッシング翻訳賞。

主な詩集に『言葉の岸』（思潮社）、『ホッチキス』（書肆山田）、『家族の午後』（澤標）、『ほとぼりが冷めるまで』（澤標）。

主な評論に『石原吉郎——シベリア抑留詩人の生と詩』（中公文庫）、『フランクフルト学派——ホルクハイマー、アドルノから21世紀の「批判理論」へ』（中公新書）、『「投壘通信」の詩人たち——〈詩の危機〉からホロコーストへ』（岩波書店）、『アドルノ——非同一性の哲学』（講談社学術文庫）。

最新刊に『〈最後のユダヤ人〉——ホロコースト以降の文学と思想』（中央公論新社）。

第3部 アトラクション

胡弓演奏 石田 音人 氏

「胡弓の音色はいのちの風となり」



石田音人 (いしだ・ねひと) プロフィール

日本の伝統楽器胡弓・津軽三味線の演奏家。古典胡弓を澤田孝子、津軽三味線を菊池栄蔵に師事。

愛知県芸術劇場コンサートホールにて愛知フィルと共演（1997）、モンゴル公演（2002.2006）、中国雲南省公演（2001）、イタリア・ミラノ日本の祭典ミラノ公演（ミラノ市テアトロ・ダル・ヴェルメ劇場2015）ガダルカナル島慰霊胡弓演奏会（2015）。幻の胡弓の「玲琴」「四弦大胡弓」「椰子殻沖繩胡弓」「丸胴胡弓」「陸前高田松胡弓」「雄勝石胡弓」「相馬焼胡弓」の製作、多彩な胡弓の世界を広げた第一人者。4枚の胡弓オリジナルアルバムの出版、テレビ・ラジオ出演など幅広く活躍。2005年パチンコ大衆文化賞受賞。2011年4月、被災地演奏・楽器製作支援プロジェクト「おとつむぎネット」を立ち上げ、岩手・宮城・福島・熊本・能登被災地で、23回120箇所余りで支援コンサートを行い、陸前高田松・石巻雄勝石・浪江町大畑相馬焼き・輪島漆器を使って数々の楽器を製作、寄贈してきた。

